

次亜塩素酸水についてのテレビ報道と ジアクリンの効果と安全性について

ジアクリン発売元:日本アクティブ(株)

1. 一連のテレビ報道について

去る5月30日から6月1日にかけて、テレビ報道にて次亜塩素酸水のコロナウィルスの除菌について、有効性に問題がある、との報道がなされました。

この報道の根拠となったのが、独立行政法人NITE(ナイト)の報告です。

しかしNITEの報告書をネットでよく読んでみると、5月29日(金)のニュースリリース(マスコミ向けの発表)にて、このような記事があります。

「次亜塩素酸水については、今日の委員会では判定に至らず、引き続き試験を実施することになりました」

つまり、NITEではまだ次亜塩素酸水の有効性を示す試験データをこの時点では持ち合わせていません。

経済産業省の「新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を公表します(第二弾)」のよくあるお問合せの中で、

問、「次亜塩素酸水」は新型コロナウイルスに効果が無いのですか？
の回答の中で、効果については検証試験が継続中であり、まだ結論は出ていません。とあり、一定の効果を示すデータも出ています、となっています。

その例として*塩素濃度49ppm(ph5.0)で、20秒で感染力を1000分の1まで減少させた例がありました。と記載があります。

2. 除菌剤ジアクリンの有効性と安全性

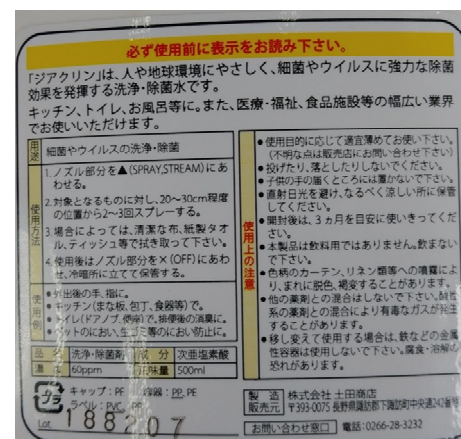
NITEの報告書では、次亜塩素酸水の中には、次の内容について不明や不足、曖昧なものが多いとの指摘があります。

その項目に従って、ジアクリンについてご報告します。

(1)ジアクリンは製品本体に成分や使い方を適正に表示しております。



- ・成分 次亜塩素酸 **濃度 60ppm**
- ・開封後は、3カ月を目安に使いきって下さい
- ・他の薬剤との混合はしないで下さい。
- ・用途 細菌やウィルスの洗浄・除菌
- ・製造日 ロットナンバーで表示



3. ジアクリンの有効性と安全性の試験データ

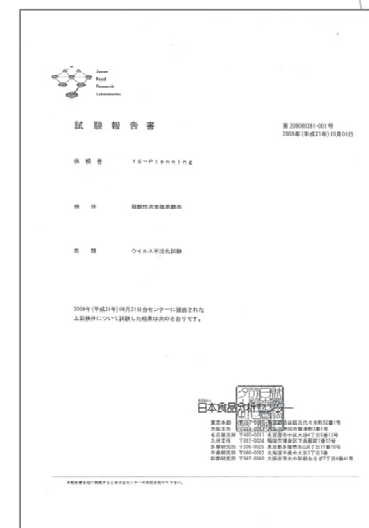
NITEの報告書では有効性や安全性についての根拠が、曖昧なものが多いと指摘しています。

ジアクリンについて、次のとおりご報告します。

(1) ジアクリンの除菌の有効性のデータ

ウイルス不活化試験 …… ウイルスの感染力や毒性を失わせる試験で有効を確認

ノロウイルス不活化試験 …… ノロウイルスの感染力や毒性を失わせる試験で有効を確認





(2) ジアクリンの安全性についての試験データ

- ・ **目に対する安全性** …… ウサギを使った眼刺激性試験で安全性を実証
- ・ **皮膚への安全性** …… モルモットを使った感作性試験で安全性を実証
- ・ **口から飲み込んだ場合の安全性** …… マウスを用いた単回経口投与毒性試験で安全性を実証

このようにジアクリンは、新型ウィルスやノロウィルスに対する有効性と、目や皮膚、口への安全性の両方を試験データで実証しております。

4. ジアクリンの噴霧での安全性と有効性について

NITEの報告書では次亜塩素酸水を噴霧することのについても、安全性に問題があるとしています。

これに対するジアクリンを噴霧する安全性と有効性について、次のとおりご報告します。



(1) ジアクリンの安全性

ジアクリンは上記で報告したとおり、目や皮膚、飲んでの安全性について実証されています。

また**ジアクリンの塩素濃度は60ppmと低濃度**のため、一般的な消毒剤の次亜塩素酸ナトリウムやアルコールに比べても、非常に安全です。

(2) ジアクリンを噴霧した場合の塩素ガスの発生量

次亜塩素酸ナトリウムを噴霧した場合の危険性は**塩素ガスの発生**です。
ジアクリンを噴霧した場合の塩素ガス発生量のデータは、次のとおりです。

ジアクリンの濃度 (ppm)	pH	30分後の濃度 (ppm)	60分後の濃度 (ppm)
200 ppmの場合	5.8	0.12	0.07
100 ppmの場合	6.0	0.01以下	0.01
50 ppmの場合	5.8	0.01以下	0.01以下



ジアクリンの通常の濃度は60ppmのため、噴霧後30分でも塩素ガス濃度は**0.01ppm以下**で、これはほとんどカルキ臭もなく安全な状態です。

(3) ジアクリンを噴霧した場合の有効性 病院でのMRSA(耐性黄色ブドウ球菌)とMSSE (感受性黄色ブドウ球菌)に対する効果試験



測定場所	噴霧前	コロニー数	ジアクリン噴霧後
ベッド下	MSSE	3	—
	MRSA	3	—
ソファ前	—	—	—
カーテン下	MRSA	3	—

この試験のとおり、ジアクリンは噴霧しても菌に有効なデータがあります。
どうぞ安心してジアクリンをお使い下さい。